

品川区教育委員会会議記録

平成20年 第2回 定例会

場 所 教育委員室
期 日 平成20年2月12日
開 会 午後2時00分
閉 会 午後4時25分

出席委員	委 員 長 細川 珠生 委員長職務代理者 徳岡 壽夫 委 員 安尾 久子 委 員 前田 武昭 教 育 長 若月 秀夫
欠席委員	

出席職員	教 育 次 長 長田 正 庶 務 課 長 市川 一夫 学 務 課 長 古里 兌夫 指 導 課 長 河野 美和 小中一貫教育担当課長 藤森 克彦 生涯学習課長 富田 祥子 品川図書館長 工藤 俊一 品川区スポーツ協会事務局次長 本城 善之
------	---

議事運営および 委員長、教育長報 告事項等	署名委員に徳岡委員、安尾委員を指名 日程第1第5号議案について人事に関する案件のため非公開の会議として 取り扱うこととし、日程を変更し審議する。(異議なし)
-----------------------------	--

件名	日程第1 第4号議案 通学区域の取扱いについて
担当課説明等	(学務課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	・ 特になし
事務局説明	・ 特になし
委員意見要旨	・ 特になし
議事結果	原案可決

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項1 品川区教育委員会の教育目標および基本方針について</p>
<p>担当課</p>	<p>(庶務課長) <ul style="list-style-type: none"> 教育目標および基本方針(以下「教育目標等」)について今年度改正を行わない方向である。 本件協議を元に各委員からの意見を伺い、次回教育委員会にて議案として提出したい。 </p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員D) <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の改訂がひかえていると聞いたが、改訂の時期について確認したい。 </p>
<p>事務局説明</p>	<p>(指導課長) <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の改訂については、既に改訂作業に入っており、大枠が今月中に提示される予定である。最終的には来年度中には確定する予定。改訂が終了後、平成21年度、22年度の移行期間を経て平成23年度から新学習指導要領の完全実施となる。 </p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員A) <ul style="list-style-type: none"> 教育目標等はこれまでの修正を経て大分良くなってきた。今後も品川区の教育を充実されるにあたり、教育目標等については現状では特別に発展的な事項を盛り込む必要はないと思われる。事務局での執行にあたり、肉付け・発展させていけばよい。 <p>(委員B) <ul style="list-style-type: none"> 事務局の考えで良いと思う。教育目標等は大枠を決めるものであり、それに基づき各課がそれを具体化するものである。教育目標等に定める目標をさらに工夫し、深化して実施していくように。 <p>(委員E) <ul style="list-style-type: none"> 基本的には現行の教育目標等で良い。 基本方針の2について、学力、学校教育の関係を具体化している項目であるが、「学力」を個性の一つとして表現すべきか検討してほしい。 基本方針の2について、(1)～(9)で具体的に記述しているが、内容が子どもたちに働きかける内容と、環境整備に関わる内容とがあるので、これらを整理する必要があるかもしれない。 また今後の一貫教育に必要なものとして、「選択と集中」という考え方が必要である。教育目標等を達成することに加え、各学校がそれぞれ生活指導なり、教科指導なり、特に推進するものを選択し、それに集中していくという考え方を盛り込めると良い。 教育目標等と学習指導要領との関わりについて、教育目標等は1年間の教育のプロセスを見て手直ししていくものであり、学習指導要領が変わること即教育目標等の改正と考える必要はないが、改正する必要が出てくるとも十分考えられる。 教育目標等は教育の普遍的な理念でもあり、どうしても総花的になってしまう部分があり、仕方がないが、品川区として独自の内容は盛り込まれている。 <p>(委員D) <ul style="list-style-type: none"> 細かい点で文章の整理をして欲しい。 </p> </p></p></p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品川区の教育目標等は品川区として独自の施策を盛り込むべきではないか？ <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修正については各委員から具体的に意見を出すべきである。
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員の意見を踏まえ内容を検討すること。 ・ 文章表現に十分注意すること。 ・ 各委員は追加で意見等ある場合は来週中に事務局へ意見を述べること。 ・ 次回教育委員会に議案として提出すること。

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項2 教育委員会事務事業の点検・評価の準備について</p>
<p>担当課</p>	<p>(庶務課長) 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員C) <ul style="list-style-type: none"> 学識経験者の知見の活用について、どの程度の人数とボリュームを考えているか。 区議会への報告について、報告で良いのか、承認は必要か。 予算の割合の大きい施設関係について委員会が評価・判断することは難しい、こういう分野で学識経験者の意見を求めているかどうか。 </p> <p>(委員D) <ul style="list-style-type: none"> スケジュールについて、委員会として評価を実施するのは9～10月になるのか？ かつての事務事業評価には日程的にどの程度を要していたか知りたい。 </p>
<p>事務局説明</p>	<p>(庶務課長) <ul style="list-style-type: none"> 学識経験者の知見の活用について、現段階では事務管理部門で1人、教育部門で1ないし2人で検討している。全ての事業についてではなく、1につき数件の事業について意見照会したいと考えている。 区議会への報告については、結果の報告となる。報告の方法については区議会事務局と今後協議していく。 学識経験者へ施設関係の専門家の意見を求めることについて、本件は委員会の判断事項であり、委員会の意向であれば当該部門の専門分野の方の人選をすることも必要だと考える。 評価のスケジュールについて、評価は少しでも早め実施していきたい。事業・評価によっては次年度への予算編成に反映させるべきものも出てくると思われるため、遅くとも10月には実施したい。委員会日程としては、教科書採択などに日程の多くを割かなければならない年もあり、また、事業評価にあたっての事務局からの説明に数日を要すると想定しているため、現段階では9～10月に評価を実施する事を考えている。 かつて実施していた事務事業評価について、事務局での評価に約2ヶ月程度を要していた。 各委員からいただいた意見を基に検討し、学識経験者の関与などをより具体化し、制度づくりの最終調整に入る。年度末までには議案化してご審議いただく予定である。 </p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員A) <ul style="list-style-type: none"> 各課の自己評価が終了した段階で、専門家に全体を見てもらい意見をもらうというイメージでも良いと思う。あまり難しい仕組みとするのではなく、実施しながらより良くしていくという考えがよいと思う。 全体を網羅するという考えよりも委員会が関与すべきことに集中して関与していくべきである。 </p> <p>(委員B) <ul style="list-style-type: none"> 本事業は実際にやってみなければわからない部分もあると思う。学識経験者の知見の活用についても、少なめに初めて状況を見て修正をしていくという考えが良いと思う。 </p> <p>(委員D) <ul style="list-style-type: none"> 初年度は試行くらいの考えで進めるべきかもしれない。模索しながら良いものを作っていきたい。 </p>

議事結果	了承
------	----

<p>件名</p>	<p>日程第3 報告事項1 平成20年度歳入・歳出当初予算の査定結果について</p> <p>日程第3 報告事項2 平成19年度歳入・歳出補正予算について</p>
<p>担当課</p>	<p>(各課長) 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の点検・評価に関わる学識経験者への謝礼等は予算化しないのか。
<p>事務局説明</p>	<p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務経費の中で対応できると考えている。
<p>委員意見要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

件名	<p>日程第3 報告事項3</p> <p>平成19年度特別区立幼稚園長・教頭選考の結果について</p>
担当課	(指導課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教頭について、副園長という呼称ではないのか。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の特徴や傾向はあるか。
事務局説明	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教頭について、幼稚園においては副園長という呼称を用いているが、任用制度上は教頭という職名となる。 ・ 今年度の傾向について、品川区の各受験者の論文の傾向が、専門的立場からは理解できるが、教育関係者以外にはわかりにくい内容が多いようだ。論文の採点者は教育関係者ばかりではないため、今後は誰が読んでもわかる論文となるよう指導していきたい。
委員意見要旨	特に無し
議事結果	了承

議事運営	追加議事日程を追加し直ちに議題とする。(異議なし)
------	---------------------------

件名	追加議事日程 特別支援教育の充実について
担当課	(指導課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPOとの関係について、支援員・介助員(以下「支援員等」)については現場主体となり、学校がNPOに関与していくということか。 ・ 予算措置についてどのような状況か。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要支援の者の具体的な人数はどれくらいか。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPOにあてはあるか。
事務局説明	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援員等の措置には学校の校内委員会において個別に指導計画を立て、指導が不足する部分について支援員等を派遣する。指導計画は学期ごとに見直し、教育委員会事務局へ報告する。 ・ 予算措置について、予算査定の結果5千万円程度の追加が認められた。しかしながら、支援員については研修を義務化したり、教員免許を必須とするなど、単位時間あたりの報酬単価に差をつけるため、単価が上昇する部分がある。実施にあたり、必要などところで重点的に実施する形とするが、将来的には全体へ展開し、拡大していきたい。 ・ 要支援者の人数について、全区で約100名程度である。 ・ NPOについて、福祉事業に関与しているNPOと協議を行っている。
委員意見要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約やNPOとの関係に問題がなければ拡充していけば良いと考える。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長が個別に支援する方を探していた時代から考えると良いシステムである。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要支援者と支援員等との相性などを含め柔軟な対応をとっていただけるとありがたい。
議事結果	了承

その他	<ul style="list-style-type: none">平成20年3月の行事予定について 区議会の日程により3月11日に予定される定例会を3月18日14時開会に変更する。 区議会等の日程により3月25日に予定される定例会を3月28日15時30分開会に変更する。
-----	--